

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	目 標 の 年 度 値	実 績 の 年 度 値	アアウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
香芝市	②学校と地域の課題	教職員の時間外勤務の是正	子どもたちが社会を生き抜く力を育てるためには、学校と地域が連携し、一丸となる必要がある。しかし、「地域と学校をつなぐ人材」「地域資源を掘り起こす人材」が不足している状況にある。	事業理解が深まることで、連携力の向上へつながると考え、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」「児童生徒との関わり方」に係る研修会の開催などの	地域学校協働活動推進員を市立小・中学校（14校）に各1名以上配置し、学校と地域の連携を強化するとともに、地域資源（人材）の掘り起こしを行う。	各学校に地域学校協働活動推進員を配置することで、学校と地域の連携がより強化され、それに伴い本事業に関わる地域の方たちが増えることで、子どもたちを地域ぐるみで支え、育てる環境作りを推進する。	1名以上地域学校協働活動推進員が配置されている市立小・中学校数。	10	校	14	10	2 本事業の内容周知や、地域の人材発掘がまだ手薄であることが目標達成に至らなかった点であると考えられる。今後の取組として、市HPをさらに活用した情報発信や、地推員の育成・協力体制を見直していく。